

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

顎矯正手術による気道変化の解析	
1. 研究の対象および研究対象期間	2015 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に昭和医科大学歯科病院で下顎前方移動術の手術を行った患者さん
2. 研究目的・方法	外科的矯正治療は、あごの骨のずれなどによってかみ合わせがうまくいかない場合に、その骨の位置を整えるために行われます。あごの骨の位置が変わることで、のどの空気の通り道（気道）の形も変化することが知られています。特に、下あごを後ろに下げる手術を行ったあとに、空気の通りが悪くなり、息がしづらくなることがあります。一方で、寝ているときに下あごを少し前に出すマウスピースのような器具（下顎前方スプリント）を使うと、気道が広がり、いびきや無呼吸の改善につながるということがわかっています。実際の手術でも、下あごを前に出すことで、のどの奥の空気の通り道が広がることが報告されています。しかし、手術によってどのように空気の流れが変化するかについては、まだはっきりわかっていません。この研究では、外科的矯正治療によって下あごを前に出す手術を行ったときに、のどの空気の通りがどのように変わるのかを調べることを目的としています。そのために、術前・術後に既に撮影した CT のデータからコンピューターを使い空気の流れを立体的にシミュレーションできるソフトを使って、詳しく解析を行います。
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	性別、年齢、診断名、手術日、術式、気道体積、セファロ分析値、流体解析
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 昭和医科大学 歯学部 歯科矯正学講座 森川 金汰

研究分担者	昭和医科大学 歯学部 歯科矯正学講座	船橋 宗利
研究協力者	昭和医科大学 歯学部 歯科矯正学講座	瀧澤 秀臣

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 歯学部 歯科矯正学講座

氏名：船橋 宗利

住所：東京都大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-5498-1906